

往還ノート

1 学期 2 号 (246 号) 2022 年 7 月



放送大学

広島学習センター
福山サテライトスペース

二つの学び

広島学習センター客員准教授 三根 和浪

ウクライナ軍事侵攻。第三次世界大戦の懸念も絵空事ではない事態に、世界が揺れています。NATO への加盟表明をしたフィンランドやスウェーデンは、この国の研究仲間や友人の祖国であり、心配が尽きません。

広島学習センターの所在する広島市は、世界初の原爆被害を受けた都市として、世界平和を希求し発信することが期待されています。だからこそ「ヒロシマ」は「HIROSHIMA」として世界の共通語になっており、決して過ぎ去った歴史ではありません。核兵器使用の懸念が排除されない事態となった今、私にとっての二つの学びを思い起こします。



一つは、「天野夏美/作、はまのゆか/絵、『いわたくんちのおばあちゃん』、主婦の友社、2006 年」。いわたくんのお母さんが言います。

「『戦争なんてずっとむかしの話』、なんて思わんでね。ひょっとしたら、『未来の話』になるかもしれないよ。『未来』、それは君たちみんながつくっていくものだからね。」

私たちは、今も、これからもずっと、「戦後」のままでなくてはなりません。決して今を「戦前」にしない、そんな未来をつくっていかなくてはなりません。そう学びました。

もう一つは、40 年近く前に広島大学の学生だったあの日、講義で藤井敏彦先生に問われた言葉。

「君たちは原爆死没者慰霊碑の碑文は誰がつくったものか知っているか。ヒロシマに学ぶ学生として世界の人たちに平和を伝えるとき、碑文をどう英語で伝えるか。」

全く答えられませんでした。当時の浜井信三広島市長の要請によって碑文「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」を執筆したのは、雑賀忠義広島大学教授。英訳は次の通りだそうです。

Let all the souls here rest in peace; for we shall not repeat the evil.

平和を願う心と同時に、行動のツールとしてこれを伝える言葉を持つこともまた大切だと学びました。

あの日から既に三四半世紀を過ぎ、ヒロシマは今年 77 年目の夏を迎えます。二つの学びを今改めて思い起こし、ヒロシマに学ぶ者として、これが喫緊の課題と思ってやみません。

目次

客員教員寄稿	1	視聴学習・図書室からのお知らせ	5
所長室便り	2	行事のお知らせ	5
事務室からのお知らせ	3	スケジュール (7 月～10 月)	6

ニワトリの魅力に誘われて

広島学習センター所長 吉村 幸則

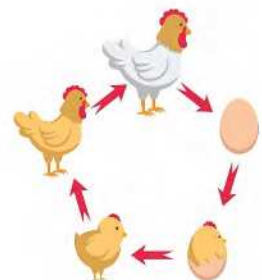


新年度に入って3か月余りが過ぎました。学生の皆様には順調に授業を受けたり、学生生活を楽しまれたりされておいででしょうか。現在、国内外を見れば新型コロナウイルス感染症の収束には至ってなく、また世界平和を不安にさせる深刻な状況もあり、私たちは今まで以上に社会情勢を理解する必要があると思います。放送大学で学ぶことは多角的に社会を見ることができる教養を身につけるねらいもあります。国内外で課題が多い時代ですので、物事を多角的にそして柔軟に考えるための基盤になる「教養」を大切にしたいものです。なお、広島学習センターでは、今年度中に「心の健康」や「ニワトリの話」についての講演会、そして「平和」についてのシンポジウムを開催する予定です。みなさまには、ぜひご参加ください。

さて、今回は、私の専門を紹介させていただきます。研究分野は「家畜の生産」です。幼いころからニワトリに慣れ親しんでいたもので、とくに鳥類の研究に微力を注いできました。ニワトリのヒナは受精卵を3週間ほど孵卵すると自分で殻を破って孵化します。この新しい命の誕生にはとても感動します。羽毛は当初は柔らかくてふさふさしていますが、やがて成長とともに抜け替わり、綺麗な色艶で硬くなります。孵化して直ぐのヒナは、床を指で軽くたたくと寄って来るといった無邪気さがありますが、成長するにつれて無邪気さは失われます。ニワトリも他の動物と同じように成長するにつれて、いろいろなことを学ぶようです。

研究内容を少し細かく述べると、産卵の仕組みやニワトリの健康を守る免疫の仕組みを調べています。安全な食料を安定的に生産できるように、ニワトリを健康にして、能力を十分に発揮させたり、卵や肉の細菌汚染を防いだりすることを目指すものです。現在は孵化して間もないヒナで、病原体を死滅させる「抗菌分子」の産生を増加させて、感染防御力を高めてやりたいという研究に力を注いでいます。こうした研究やいろいろな学びを継続できることに感謝しながら、日々の生活を大事に過ごしていきたいと思っています。

広島学習センター所長室前掲示板（所長室コーナー）に所長作成の「ニワトリ生殖器と消化管における自然免疫機能強化への挑戦」を掲示しています。来所された際に、ぜひご覧ください。



●○単位認定試験（Web 試験）について○●

試験日程

Web 受験方式（試験期間）：2022 年 7 月 15 日（金）9:00～7 月 26 日（火）17:00

郵送受験方式（提出期間）：2022 年 7 月 15 日（金）～7 月 26 日（火）《必着》

今学期の単位認定試験は、**Web 受験方式（一部科目については郵送受験方式）**にて実施します。
実施方法や試験日程が以下のとおり変更していますので、必ず確認してください。

1. 実施方法

実施方法は「Web 受験方式」を基本とし、一部の科目※については「郵送受験方式」により実施します。

Web 受験方法

自宅等から、インターネットを通じて Web 単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出（送信）を行います。（試験期間内であればいつでも受験可能）

- ▼ 1 科目 50 分の制限時間があります。（一時停止不可、1 回のみ受験可能）
- ▼ 科目ごとに「択一式」「記述式」「（択一式と記述式の）併用式」のいずれかの形式で出題されます。
 - ・択一式問題：選択肢をクリックして解答します。
 - ・記述式問題：解答記入欄に文字入力して解答します。



郵送受験方法

※「正多面体と素数（'21）」（記述式）、「日本美術史の近代とその外部（'18）」（記述式）、
「量子化学（'19）」（併用式）のみ

- ▼ 7 月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。
- ▼ 試験時間の制限は行いません。
※郵送受験方式の科目については、パソコンは使用しないため、学習センターでの単位認定試験は実施しません。



学習センター等で受験申請書を提出した方

- ▼ 「Web 受験方式」の科目を登録している方で、ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等のご事情があり、Web 受験が困難な方で、学習センター・サテライトスペースでの単位認定試験受験を申請された方のみ受験していただけます。
※2022 年度第 1 学期の申請受付は終了しています。
- ▼ 「Web 受験方式」の科目を学習センター等で受験する場合、「授業科目案内」及びシステム WAKABA に記載の試験日・時限に受験する必要があります。
- ▼ 学習センター等で受験する場合でも、原則として「試験問題の閲覧」及び「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます。（記述式の解答のみ解答用紙で行います。）

2. 認定試験体験版について

現在、システム WAKABA では、Web 単位認定試験システムの体験版が利用可能です。

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、**受験に使用する予定のパソコン等から、単位認定試験期間前までに必ず体験版の操作を行ってください。**

Web 単位認定試験体験版 アクセス方法

システム WAKABA → 学内リンク「Web 単位認定試験」（システム WAKABA TOP 画面右側）
→ 科目一覧「Web 単位認定試験体験版」

●○次学期の履修手続きについて●○

☞学生生活の栞（大学院 P56～/教養学部 P58～）参照

① 次学期も学籍のある方 次学期に履修する科目の科目登録申請を期間内に行ってください。

㊦	申請期間	申請方法
郵送	8月15日（月）～ 8月30日（火）本部必着	7月中旬に送付されます科目登録申請票に次学期に履修したい科目を記入のうえ、大学本部へ郵送してください。
インターネット	8月15日（月）9:00～ 8月31日（水）24:00	システム WAKABA の「教務情報→科目登録申請」から手続きを行ってください。

② 今学期で学籍の切れる方 引き続き放送大学で学習されたい方は、継続入学手続きを期間内に行ってください。

㊦	出願期限	出願方法
郵送	【第1回募集】 8月31日（水）本部必着 【第2回募集】 9月13日（火）本部必着	7月中旬に送付されます継続入学用募集要項（※）もしくは一般の募集要項に必要事項を記入のうえ、大学本部へ郵送してください。 （選科・科目履修生から全科履修生に継続入学する場合は一般の募集要項にて手続きをしてください。） ※集団入学、共済組合を利用しての入学、自主退学者には送付されません。
インターネット	【第1回募集】 8月31日（水）24:00 【第2回募集】 9月13日（火）17:00	システム WAKABA の「教務情報→継続入学申請」、もしくは放送大学ウェブサイトのインターネット出願から手続きをしてください。（教養学部への継続入学生で面接授業も登録したい方は下記◎部分を参照してください。）

③ 今学期末に卒業見込みの方 成績判定後に次学期に向けて手続きを行ってください。

必要な手続き	手続きに該当する方
科目登録申請（①参照）	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期も学籍がある場合 。
継続入学（②参照）	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期に学籍がない場合 。
	今学期末で卒業される方で、 引き続き放送大学で学習を続けたい場合 。

④ しばらく科目登録していない方

全科履修生は連続して4学期（2年）間、科目登録申請及び授業料納入を行わないと除籍になります。連続して3学期間、科目登録手続き、授業料納入を行っていない方は、この機会に科目登録申請を行い、学習を再開しましょう。

◎継続入学生が学期当初から面接授業の登録申請をする場合

教養学部（全科履修生・選科履修生・科目履修生）への継続入学生で、学期当初から面接授業の登録申請を希望される方は、**科目登録申請期間中（8月15日（月）～8月31日（水））にシステム WAKABA（「教務情報→継続入学申請」）から出願を行う必要があります。（郵送での受付はありません。）**

- 科目登録申請期間外に継続入学申請を行った場合、面接授業の科目登録申請はできません。
- 出願時には、1科目以上放送授業又はオンライン授業を登録する必要があります。面接授業の登録申請のみでは出願できません。

※面接授業に関する注意事項

コロナウイルス感染拡大の影響を受け、閉講、定員削減、Zoom等のシステムによるWeb授業への変更など状況次第では代替措置へ切り替えや、広島県内に住居地のある学生以外の越境受講をお控えいただく可能性があります。他の学習センターにおける越境受講についても同様の措置をとる可能性がありますので、面接授業の科目登録をされる際は、各学習センターへ確認してください。

●○次学期の学生証の交付について●○

☞学生生活の栞（大学院 P24～/教養学部 P18～）参照

9月末で学生証の有効期限が切れる全科履修生の方、次学期に継続入学される方の学生証は**10月2日（日）から交付**できます。有効期限が切れている方は旧学生証を、継続入学される方は旧学生証と「入学許可書」を事務室窓口まで持参してください。なお、学生証交付にあたっては、必ず学生本人が手続きを行ってください。

顔写真を新しくされたい方は、更新の1か月前に学生生活の栞巻末にある「写真票」を放送大学本部学生課まで郵送いただくか、システム WAKABA「教務情報→学生カルテ」から変更してください。システム WAKABA は有効期限日の2か月前より変更可能です。

●○視聴学習・図書室の学期末臨時閉所について○●

次学期準備のため、広島学習センター視聴学習・図書室を **9月24日(土)～30日(金)** の期間、閉室します。図書の貸出・返却手続きは事務室にて行いますので、窓口までお越しください。
福山サテライトスペース図書室は通常通り開室しています。

●○広島学習センター配架雑誌バックナンバー配布について○●

2021 年度第1学期、第2学期に広島学習センター視聴学習・図書室に配架していた雑誌のバックナンバー（2020年10月号～2021年9月号）を、下記期間中に無料配布いたします。引き取りを希望の方は、先着順でご自由にお持ち帰りください。なお、雑誌の予約申込や配送（着払いも含む）は受け付けておりません。

◆配布期間：8月16日（火）～8月31日（水）

◆場 所：広島学習センター視聴学習・図書室（3階）

◇配架雑誌◇

英語教育／栄養と料理／こころの科学／インターフェース／情報処理／ニュートン／月間福祉／文藝春秋／法学セミナー／臨床心理学／National Geographic

行事のお知らせ



2022 度 広島学習センター文化祭 展 示 作 品 募 集



今年も広島学習センターにおいて、文化祭を開催します。つきましては、学生の皆様より、文化祭で展示する作品（絵画、写真、俳句、短歌、ほか美術作品等）を募集します。作品展示を希望される方は、下記申込書に記入していただき、10月9日（日）までに事務室へ提出してください。

■文化祭日時：10月29日（土）

■展示会場：広島学習センター中講義室・小講義室（4階）（予定）



2022 年度 広島学習センター文化祭 作品展示申込書

申込締切【10月9日（日）】

学生番号		氏名	
電話番号	()	メール アドレス	
団体名 (学生団体のみ)			
展示作品の 内容			

※学生団体での申し込みの場合は、代表者の学生番号・氏名を記入してください。

※展示用パネルは事務室で用意します。

※展示作品は10月23日（日）までに広島学習センターに搬入してください。

行事の中止のお知らせ

8月に予定しておりました納涼会と10月に予定しておりました研修旅行と福山サテライトスペース主催の美術鑑賞会は、現在の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、開催を中止とさせていただくことといたしました。

開催を楽しみにされていた皆様にはお詫びを申し上げますとともに、ご理解をいただきますようお願いいたします。

スケジュール（7月～10月）

7月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

15日(金)～26日(火)単位認定試験(Web受験方式)

8月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	※12	※13	※14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

15日(月)～30日(火) 科目登録申請期間(郵送)

15日(月)9:00～31日(水)24:00 科目登録申請期間(Web)

9月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

24日(土)～30日(金) 視聴学習・図書室学期末臨時閉室

25日(日) 学位記授与式／入学者の集い

10月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

1日(土) 大学院入試(筆記試験)

15日(土) 面接授業空席発表

20日(木) 面接授業追加登録

29日(土) 文化祭

閉所日(月曜日、祝日、所長が必要と認めた日) (※) 臨時閉所日

<ご注意ください>

・8月12日(金)～14日(日)は、広島学習センター・福山サテライトスペースとも臨時閉所いたします。

広島学習センター

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
TEL▶082-247-4030 FAX▶082-247-4461

福山サテライトスペース

〒720-0812 福山市霞町1-10-1(まなびの館ローズコム3階)
TEL▶084-991-2011 FAX▶084-991-2012

MAIL / 学習センターウェブサイト

hiroshima-sc@ouj.ac.jp / <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/>

卒業・修了おめでとうございます

2022年3月27日(日)に、2021年度第2学期学位記授与式を行いました。

広島学習センター



福山サテライトスペース



【2021年度第2学期卒業生数】

【2021年度第2学期修了生数】

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース	学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活と福祉コース	15	6	生活健康科学プログラム	-	1
心理と教育コース	24	5	人間発達科学プログラム	-	-
社会と産業コース	9	-	臨床心理学プログラム	-	-
人間と文化コース	9	1	人文学プログラム	2	-
情報コース	6	-	情報学プログラム	1	-
自然と環境コース	4	3	自然環境科学プログラム	1	-
合計	67	15	合計	4	1

教職員一同、皆様のご健勝とご多幸、益々のご活躍を祈念しております。

目次

卒業・修了おめでとうございます.....	1	卒業生・修了生代表挨拶.....	3
学位記授与式客員教員祝辞.....	2	卒業生・修了生からのメッセージ.....	5

学位記授与式客員教員祝辞

広島学習センター客員教授 柴 静子

卒業生および修了生の皆さま、学業を無事に終えての学位の取得、誠におめでとうございます。入学時から長らく研鑽を積まれて今日のよき日をお迎えになったことと存じ、心よりお祝い申し上げます。

皆さんの脳裏には、今日に至るまでの様々なご苦労とともに、学び舎での楽しい思い出の数々が蘇っていることと思います。学ぶということは、今までは気づかなかった知識と知識の相互の関連性が分かり、自己の認知体系にそれまでとは異なる良き変化が起こることだと考えます。放送大学での学習によって、人間や社会そして世界を深く哲学し、自己の変革とともに公共の福祉への決意を新たに、これからのウェルビーイングな人生を送るための方向性を見いだされたことと思います。



ところで周知のように、ウクライナでは、ロシア軍の侵攻による激しい戦争が続いています。ニュースで知る度に、戦火におびえ、隣国へ逃れている人々の切羽詰まった悲しい姿に心が痛みます。兵士のみならず、子供を含む市民のたくさんの命が理不尽に失われていく現実、一日も早く平和な日々が戻ることを祈るばかりです。

翻ってみれば、日本も 1931 年の満州事変に始まり、1945 年 8 月 15 日の終戦の日まで、15 年という長きにわたり戦時下にありました。

1945 年に入ると、アメリカの戦闘機である B29 が落とす焼夷弾のために全国の主要都市は焼き尽くされ、そして 8 月 6 日に投下された原子爆弾は一瞬にして十万人以上の尊い命を奪い、軍都ではありましたが、美しい水の都広島を 75 年間は草木も生えぬと言われた廃墟の街にしまいました。

しかし筆舌に尽くしがたい絶望的な状況にあっても、当時の広島市長木原七郎氏や浜井信三氏たちのリーダーシップの下でいち早く復興への取り組みがなされ、幾多の^{かんなんしんく}艱難辛苦を乗り越えて、市民の総力で現在の広島市の基盤が作られました。

このような戦後復興期の 1946 年 8 月に、廣島図書という出版社を立ち上げて、焼け野原の広島市を国際的な出版都市にしようと考えた松井富一という人物がいました。氏は被爆による重傷の身を包帯に包みながら、前もって疎開をさせていた印刷機を市内に運び込み、文化財を失った児童のために採算を度外視してたくさんの優れた書籍を出版しました。中でもカラー挿絵の入った楽しい読み物教材である『ぎんのすず』は全国に普及し、僅か 3 年で 120 万部を売り上げたといわれています。

松井氏は、1949 年に書いた「国際的出版都市建設の夢」という著作の中で、次のように述べています。

「戦争を放棄した日本にとって、更生の道は、ただ民主的文化国家の建設以外には考えられない。文化国家とは、人間文化のあらゆる分野が高度に、しかも調和的に発達を遂げた国家を言うのである。すなわち科学や哲学が美しい花を開き、芸術や宗教が豊かな実りを結び、高い道義と永劫の真理とを立国の基礎とした国家を言うのである。そしてこのような文化を以て、人類の平和と幸福とに貢献する国家のことを言う。しからば、文化国家の建設はいかにして可能になるのか。何よりもまず、国民が文化に対する深い理解と敬意を払い、文化創造の意欲に燃えることである。」

松井氏はこの信念をもってカラフルで楽しく夢のある児童用図書の出版を次々と行い、荒涼たる焦土の子どもたちに文化という泉を与えながら、被爆地広島の復興、そして文化国家日本の建設をめざしました。

このような松井氏の取り組みが、ウクライナでの戦争に心を痛めている私たちに訴えていることは、「戦争による恐るべき破壊と尽きせぬ困難を伴う復興について、自他の歴史を踏まえながら考えを深め、非戦の誓いを新たに、自分にできることを模索し続けること」であると考えます。

放送大学で様々な学問を探究した皆さん方は、真理と平和を希求する強い気持ちをもった日本国民であり、また世界市民であると信じています。今後、それぞれの持ち場において真正なリーダーシップを遺憾なく発揮されますよう、皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げて祝辞といたします。

卒業生・修了生代表挨拶

広島学習センター卒業生・修了生代表 井口 弘子(情報コース)

今日は、私たち卒業生・修了生のために、このような素晴らしい式典を開催していただき、まことにありがとうございます。私はこの度、情報コースを卒業する井口と申します。この情報コースの卒業で、全てのコースを修了させていただくこととなりました。これまで 25 年という長い年月を経て、本日を迎えることができました。

事務室の皆様には、大変お世話になり、本当にありがとうございました。私がこの放送大学に入学しましたきっかけは、当時手話を習っており、福祉に興味があったので、「放送大学で少し勉強してみようかな」と思い、入学しました。最初は選科履修生から始めました。多分 5 年くらいです。その後、全科履修生に変更しました。しかし、全科履修生には必須科目に外国語があります。私は英語含め、これまで語学を詳しく勉強したことがなく、大変心配でしたが、面接授業で英語と中国語を履修しました。

英語はピーター先生でした。この授業では、入室から退室まで先生は全て英語です。もちろん私は全く分かりませんでした。友人たちに教えてもらいながら、なんとか受け答えしていました。このようなカンニングは、先生にはバレていたと思いますが、叱ることなく丁寧に指導してくださいました。中国語は吾妻先生でした。大変優しい女性の先生でした。これも、別の友人が中国語のサークルで勉強していたので、大変お世話になり助かりました。この語学の学習が一番大変でしたが、今思うとこれが一番の思い出となっています。

その後、発達と教育コースで、心理学が大変興味深い内容で面白くなり、「認定心理士」の資格を取得しました。

また、法律や細胞、宇宙、AI と様々な分野を学んできましたが、「私はこれは好きかも」とか、「やっぱり全然分からない」など、自分ではこれまで自覚していなかったことに多く気づくことができました。たくさんのことを学んだことで、この気づきに気づけたことを嬉しく思っています。皆さんも、まず学んでみて、面白いもの、興味があるものを見つけてください。

25 年の間には、皆さんもそうだと思いますが、いろいろなことがありました。

私は父が倒れてその看病のために病院へ通ったり、私自身も入院し病院から面接授業を受けに行きました。

今はコロナ禍で、他県での授業は受けることができませんが、面接授業では、松江や鳥取、横浜、大阪へと出かけました。これも楽しい思い出です。

最後の情報コースですが、パソコンが苦手な私は特に大変でした。何度も何度も事務室のスタッフの皆さんに教えていただきました。しかし、ここではできていても、自宅のパソコンの前に座ると不思議なことにできないのです。そういう時は、友人に電話して教えてもらいました。友人も大変だったと思います。

この 2、3 年はコロナ禍で全てがパソコンを使用することとなりましたが、私の歳で、パソコンのいろいろな機能やテクニックを覚えるには大変苦労しました。

また、この 25 年の間には、多くの友人に出会うことができ、生涯の友人をも得ることができました。これは何ものにも代えがたいものです。今でも毎月、ランチする友人や年に何回か集まる友人たちもいます。皆さんも是非、大切な友人をこの放送大学でたくさんつくってください。



この度のコースで、この放送大学とはお別れとなります。いつも勉強していたわけはありませんが、お別れとなるとなぜか寂しくなりました。私事ですが、ここ 1 年くらいは、今後「何をしようか」といつも考えていましたが、前に習っていた手話や、海外旅行で役立つ英会話、全くできない音楽といった候補を考えながら、今はピアノに落ち着き、苦労しながら、こどもレベルのドレミから習い始めています。

生涯学習、私は今後もいろんなことに興味を持ち、チャレンジしていきたいと思っています。皆さん是非とも頑張ってください。

終わりに先生方、事務室のスタッフの皆様、これまであたたかく親切に接して下さったおかげで、今日を迎えることができ、改めて心から感謝申し上げます。

以上で、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

卒業生・修了生代表挨拶

福山サテライトスペース卒業生・修了生代表 久保浦 寛（生活と福祉コース）

本日は、私たち卒業生のために学位記授与式を催して頂き誠にありがとうございます。また、山田所長から心温まるお言葉を頂き、重ねてお礼申し上げます。そして、在学中に私たちを温かくサポートしてくださった福山サテライトスペースの皆様のご尽力に、重ねて感謝申し上げます。

私は、一科目から学べる放送大学を知り、科目履修生として入学を決め、手続きの為に学習センターを訪れた際、スタッフの方から学位記授与式の見学を勧められ、拝見いたしました。学位記を授与された先輩方の誇らしい姿を拝見いたして意欲が湧き上がり、「社会と産業コース」全科履修生へと編入いたしました。

政治経済・法律など、多くの科目があることから「社会と産業コース」をスタート。仕事と勉強との両立で、時間と集中力低下に苦労しました。カメの歩みに習い少しずつ。なんとか、9年かけて卒業することができました。

ちょうど、新型コロナウイルス感染拡大、感染対策として自粛、多くのイベントが中止され、残念ながら、放送大学に於いても学位記授与式等を取りやめることになりました。私としては、初の学位記授与式でしたので残念でした。

その様な中、学習センターの皆様にはきめ細やかなサポートをしていただきありがとうございました。

目標達成となり、コロナ禍の中でもあり、感染、ウイルス、薬剤等の、専門性の高い分野故に遠ざけていた「生活と福祉コース」全科履修生に再入学、今日、卒業を迎えることになりました。

学ぶこととは、誰にも奪われない知識と言う内なる財産を得る為のプロセスだと、私は思います。誘惑に負けない精神力、コツコツと続ける忍耐と体力。その苦しみを超えて得る達成感口では表せないものです。

コロナ禍、デジタル社会の中、人々の心の問題がクローズアップされ、「心理と教育コース」へ再入学、学び続けていきます。

命尽きるその秒まで、学ぶことこそ生涯学習と思っております。

今後もサポートよろしくお願いします。

本日は誠にありがとうございました。



卒業生・修了生からのメッセージ

2021 年度第 2 学期卒業生・修了生の皆様より、卒業にあたっての思いや、これから学ぼうとする学生の皆様へ向けてのメッセージをいただきました。

●生活と福祉コース卒業 高原 英治

定年後青雲の志で入学し、はや 16 余年になる。思えば疾としこの年月である。この辺で一区切りをつけることにした。もちろん学習は続けるつもりである。範囲をしばらく納得のいくように例えば哲学や数学等を考えている。あれもこれも手を出し、結局ものにならなかった反省もある。人生これからである、悔いのない予後とするため、再度挑戦したいと思っています。最後に共に学んだ方やお世話になった方に感謝します。

●生活と福祉コース卒業 本田 博子

2011 年、科目履修生として入学しました。と同時に加入したサークルで、生き生きと学ばれている諸先輩方に触発され全科履修生に編入、以降マイペースで学んできました。

その間、様々なライフイベントがあり休学もしました。母の介護の際には、学んだ事が多いに役立ち、母の希望する在宅介護を選択し、看取ることができました。

孫も増えていく中、役に立てばと「心理と教育」の科目を取るようになり、認定心理士資格の単位もあと一步というところまで来ました。が、まさかのコロナ禍。資格取得は先送りにし、7 つのエキスパート認証を取得しての卒業となりました。

今後は再入学し、認定心理士の資格取得を目指します。

●生活と福祉コース卒業 友景 清治

新型コロナ禍で生活が一変した。時間がたっぷりある中、(やる気・運動) 不足、記憶力の衰えを感じていたが、2 コース目を卒業することができました。今後は少し明るさが見えてくる世の中に期待して、再々入学し、3 コース目にチャレンジすることに決めました。メリハリ

のある生活に建て直し、学習センターでの学習と往復の運動不足の解消、都合がつけば、旅行を兼ねた他県での面接授業への参加、知人との再会等、これからも自分の人生を楽しみたいと思います。

●生活と福祉コース卒業 中本 妙

他大学の通信教育部に在籍しておりましたが、結婚・出産を機に継続が困難となり退学しました。子育てをしながら看護師として仕事を続けてまいりましたが、日々進化する医療や看護について再度学び直しをしたいと思い、平成 29 年 4 月に入学いたしました。以前取得した単位も認定して頂き 5 年かけて卒業することが出来ました。大変なこともありましたが今はやり切った気持ちでいっぱいです。ご指導いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

●心理と教育コース卒業 にじ

変化を求めて入学を決意して 10 年。入学直後にがんが発覚し、一番はじめに受講した「かしこくなる患者学」が治療の支えとなっていきました。思い通りに進められなかったけれど、2020 年春、いよいよ卒業研究のみに。手を挙げたことに対して、迷ったままでしたが、先生をはじめ関わってくださった方のお陰で提出することができました。思い通りにいかず、試験会場に行くこともできないときもありましたが、卒業まで至ったのは問いに対する答えを求めることが楽しかったからだと思います。今、私の手の中には入学を決意したときに求めていたもののヒントがあるような気がしています。ありがとうございました。



●心理と教育コース卒業 西林 秀樹

入学時、1人の学習継続が不安のため、『毎月1回学習センターに行く』を目標にしました。サークルや研修旅行、研究発表会にゼミなどの諸行事に参加し、放送大学の学生の自覚を持ち続け、7年間で卒業まで、こぎつけました。特に公開講座では、熱量の高い講師陣に恵まれ、授業での学びを深め、新たな気づきと興味も湧きました。広島学習センターをはじめ、出逢った方々には、本当に感謝しています。ありがとうございました。

●心理と教育コース卒業 里重 由加里

全科履修生の3年次編入として学習を始めたのが、4年前。

心理学に興味があったこと、空いた時間が勿体ないという動機で入学。しかしながら、認定試験週間は半年に一度で、仕事も連日休むわけにもいかず、更に履修科目が試験日程に被らないようにと、遅々として当初の思惑通りには運びません。心理検査法の実習では、縦長年代の方々とご一緒しました。ディスカッションを通して、私よりずっと若い方が、資格取得のため、ご自身の経験から心理学臨床に携わりたいという目的を持ち取り組む姿は、ホントに励みになりました。学習を始めたキッカケは、皆さん様々でしょうが、最後までやり通すことで今後の糧になることでしょう。一旦卒業ですが、いつも何かしらの目標は持っていたと思います。

最後に、放送大学の関係者の皆様、科目履修生時代から長年ありがとうございました。

●心理と教育コース卒業 森分 道洋

前回の「生活と福祉コース」に続き2回目の卒業となりました。

この2年間は、コロナ禍の中での学びで、感慨深いものがあります。

定年退職後、知人の勧めで始めた放送大学での学び(3年次編入)でしたが、今では、大学院(選科)と併せて日常生活の一部となっています。

放送大学は、性別・年代等を越え、教養全般について「学ぶことの楽しみ」と「知ることの喜び」を実感させ

てくれます。次は、「人間と文化コース」に継続入学し、歴史学・宗教学等について体系的に学びたいと思っています。アメリカの詩人、サムエル・ウルマンの「青春とは、人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ・・・」。古希を迎えようとしている今、気持ちだけは、まだ「青春」です。

●心理と教育コース卒業 三好 光代

3年次編入生として2016年春に入学。認定心理士の資格取得を目指して、楽しくマイペースに学生生活を開始しました。しかし、パソコン操作や統計学に苦手意識があったので、なかなか心理学実験を受講する決心がつかず、気がつくとう入学から4年が経過していました。「あと2年で卒業」という期限が見え始めた頃、やっと実験の面接授業を受ける気になり、周囲の方の助けを得ながら無事単位を取得。結局、2つの実験を履修したところで卒業となりました。今後は選科履修生として継続し、認定心理士の資格を取得したいと思います。

●心理と教育コース卒業 積山 幸子

54才の秋に「今やらねば後悔する」という思いを胸に入学を決意して初めて教材を手にした時はまるで夢のようでした。当初思い出すのは小論文の提出で作文を提出してしまい「放送大学で力をつけてください」と指導をいただいたことです。

Living is learning learning is living

学びの中で新しい発見と感動を体験し卒業を迎えて感謝の気持ちでいっぱいです。

●社会と産業コース卒業 荒谷 里美

私は、こたわりなく興味のある科目を受けているうちに、政治・外交に関する科目が面白くなり、専攻を社会と産業コースに変更して卒業した。様々な事象が激しく変化しているのを実感できる昨今、国際政治の事柄に触れる機会を得たのは喜びだった。新聞も本も読むことが何倍も楽しくなった。今後もここで知った「学ぶ喜び」を手放さないようにしたいと思う。そして、学び続ける事が、より良い平和な世界を造る力になるのを信

じたいと思う。ありがとうございました。

●社会と産業コース卒業 森本 さゆり

この度、3 回目の卒業となりました。2 回目はコロナで卒業式は行われず、残念でした。3 回目は是非参加したいと思います。

各コース内容が違って、興味深く学ぶ事ができました。最後の講義は学長先生の講義でむづかしい内容もアシスタントの方とわかりやすく教えていただきました。

普通の生活に関わることのない事ですが、新たな発見があり、刺激を受けています。母が生前言っていたことで、「どろぼうは品物は盗んでいくが、身についた教養はとっていかない。だから勉強しなさい。」まさに大事な話だったと思います。

●社会と産業コース卒業 石田 佳子

50 歳目前で科学系資格試験に手こずり、たまたまBS の番組表の中にエントロピーの文字を見つけて、見始めたのが入学のきっかけだ。

運転の仕事で早朝・深夜関係なく働き、勉強を続けられるとは思えず選科履修生になったが、毎年入学金を払うのがもったいないので全科履修生になった。ラジオ授業を録音して運転中に聴き、試験が近くなると明日の天気もわからないほど聞いていた。コロナ前はおもしろそうな面接授業を見つけて、フェリーで愛媛や徳島へ出かけた。学割で美術館に通ったり、しんどいけれど、ワクワクもある学生生活だった。勉強を続ける自信がついたので、卒業後は選科履修生として残り、他の学位取得を狙う予定。

●社会と産業コース卒業 谷 尚美

心理学への興味や大学へのあこがれから、1990 年 4 月に他大学の通信教育課程に入学。在学年限オーバーのため 2002 年 2 月末で退学。その後、出産育児に一区切りした頃、放送大学と出会う。途中で終わっていた学び。このままでは悔いが残る。いつか卒業したいという思いと、放送大学なら無理なく続けられるのではと思い立ち、2015 年 10 月に入学。前回の大学の 30 単位を放送大学で認定していただいたのは

幸いでした。放送大学で、特に感銘を受けた科目は、高橋和夫先生の「世界の中の日本」です。また、心理学実験 1～3 は中身の濃い内容で、大変でしたが印象深い授業でした。6 年と 1 学期でお陰様で卒業と認定心理士の必要単位を集めることができました。仕事と学びの継続をサポートしてくれた家族に感謝です。ありがとう。

●人間と文化コース卒業 河瀬 博士

人間と文化コース在籍中に「文部科学 教育通信」と「放送大学広島学習センター開設 30 周年記念誌」に拙文が掲載され、励みになった。

オンライン面接授業「成人学習理論を学ぶ」(岩崎久美子先生)と教員免許更新講習では良い学びが出来た。NHK 高校講座の講師でもある友澤和夫先生の面接授業「インドの文化と社会」では裏話も聞け楽しく学べた。

また、恩師である片岡徳雄先生(教育社会学)の「学習と指導」では、古葉竹識さん(元・広島カープ監督)と片岡先生との対談もあり、この閉講科目を取り寄せ聴講して良かった。

●人間と文化コース卒業 竹村 秀博

最初は NHK の高校講座だった。学校教育が身についていないと思ったのだ。

それから、大学受験用の『スタディサプリ』に移った。いや、それらをマスターしたわけではない。せいぜいなぞったくらいだ。50 代の身には、大半の知識は右から左へ流れていった。

何かのきっかけで、放送大学に入学した。だんだん、勉強の仕方が分かってきた。卒業を迎えた。

だが、これで終わりではない。もう少し巨人の肩の上に立って世界を眺めたいと思うのだ。

●情報コース卒業 井口 弘子

この度情報コースを卒業することとなりました。これで 25 年かけて全課程を修了させていただきました。最初は福祉に関心があり入学しましたが、心理学が面白くなり、認定心理士の資格もいただきました。

法律、細胞、宇宙、AI など様々な分野を学んできた中で、「私これ好きかも」とか「やっぱり全然解からないわ」とか、自分では自覚していなかったことに気づくことができました。たくさん学んだことで、この気づきに気づけたことをうれしく思います。皆さんもまずたくさん学んでみて面白いもの、興味のあるものを見つけてください。

素晴らしい友人にも恵まれた楽しい学生生活でした。長い間先生方、事務所の方々に大変お世話になりました。ありがとうございました。

●情報コース卒業 近藤 敦彦

今回 5 回目の卒業です。平成 5 年に科目履修生としてスタートしました。気ままにやっていましたが、大学本部の人から全科履修生を勧められ、各コースの卒業をめざして単位を取得しました。

今年、80 歳になります。もう 1 コース、自然と環境コースに入学します。卒業できるかどうか分かりませんが、残された時間を健康に留意して、チャレンジしようと思っています。



広島学習センター



福山サテライトスペース



 **放送大学**
教養学部／大学院文化科学研究科